

地域とともにある学校づくり

今の子どもたちを取り巻く状況は大きく変化しています。その中で、学力や体力、人間関係やいじめなど、様々な課題や悩みを抱えている子どもや保護者が少なくありません。

学校では、様々な取り組みを行っていますが、多くの課題を抱えているのが現状です。

別府市では、学校・家庭・地域の連携・協働による教育の推進を図るため、「コミュニティ・スクールの導入に向けた調査研究を積極的に進めています。」

■教育総務課 ☎(21)1572 ■学校教育課 ☎(21)1574 ■生涯学習課 ☎(21)1587

コミュニティ・スクールとは

「学校運営協議会」が設置された学校のことをコミュニティ・スクールと言います。「学校運営協議会」では、教育委員会から任命された保護者や地域の皆さんなどが、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりし、学校の様々な課題解決に責任をもって参画していきます。

学校・家庭・地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場

で主体的に地域の子どもたちの成長を支えていく学校づくり、地域コミュニティづくりを進めていくことが、コミュニティ・スクールの一番のねらいです。

別府市では

別府市では、「学校運営協議会」の前段階として「推進委員会」を各学校に設置し、コミュニティ・スクールへのスムーズな移行を目的に、調査研究を実施しています。平成27年度からは、亀川上人、朝日、大平山小学校



▲地域ボランティアの指導のもと、田植え体験をする小学生

▼学校・家庭・地域による「推進委員会」



で、コミュニティ・スクールが導入されることとなります。

別府市コミュニティ・スクール導入の年次計画

年次計画	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
4小学校 3中学校 (計7校)	調査研究(推進委員会)	→	→	正式実施(学校運営協議会)	→
上記7校 以外の市内 すべての 学校		調査研究(推進委員会)	→	正式実施(学校運営協議会)	→

地域と一体になって

「学校運営協議会」では、学校・家庭・地域の皆さんとともに、めざす子ども像に向けて、連携・協働を図ります。具体的には、次のようなことが「推進委員会」で話し合われた結果、実現しています。地域ボランティアの方の協力で、田植え稲刈り体験(総合的な学習)や、登下校の見守り、花いっぱい運動、ミシン・調理実習(家庭科)など

のサポート、遠足・社会見学の見守りなどが行われました。

めざす姿

別府市がめざすコミュニティ・スクールの姿は、

◆質の高いよりよい学校教育の実現

◆家庭・地域の教育力の向上

◆コミュニティ

づくり

に寄与

です。

これらを実現するために、は、家庭・地域の協力や理解



▲大学生による体育学習サポート

を得て、「学校・家庭・地域」が知恵を出し合い、協働していくことが必要不可欠です。地域ととも

にあり、校づくりへ、皆さんの意見や提言などがございましたら、教育委員会、各学校へお寄せください。

学校運営協議会と地域の連携・協働

地域の子もたちが、どのように育って欲しいか考えてみましょう。



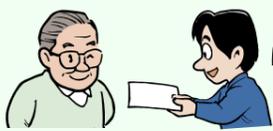
学校運営協議会

元気に誰にでもあいさつできる子どもになってほしいな。



学校運営協議会委員

学校運営協議会での話し合いの結果を、委員から家庭・地域へ呼びかけます。



地域

通学路であいさつ運動をします。自宅近くを子どもたちが通ったら、あいさつをお願いします。

おはよう。いってらっしゃい。(元気な声が返ってくるようになったな)



おはようございます!

